

「琉球泡盛海外輸出 プロジェクト行動計画」 実施状況

平成30年8月10日

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
(1)情報発信の強化			
1	消費者向け提案型集約サイトを確立 【沖縄県酒造組合】	・7月11日 委託事業者選定・事業開始	・8月～9月 現行サイトの改修 ・以降、順次、多言語対応(英語・簡体・繁体・ハングル・タイ語)及びH.Pサイト内のコンテンツの充実(映像や動画制作・酒蔵ツーリズムなど)を図る
2	観光客に向けた情報発信 【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】	公式観光情報サイト「おきなわ物語」での情報発信 ・特集ページ「泡盛・古酒をたしなむ」 http://www.okinawastory.jp/feature/awamori/top ・マハエの沖縄ダイアリー「島酒フェスタ」 http://www.okinawastory.jp/mahaeblog/?p=12437 ・マハエの沖縄ダイアリー インタビュー記事 http://www.okinawastory.jp/feature/awamori/top	「泡盛の日(11月1日)」にあわせて情報発信を予定
3	海外のイベント等での情報発信 【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】	香港・台湾・韓国における感謝のタペでの提供	・8月21日 沖縄ナイトin韓国 ・9月11日 沖縄ナイトin台湾 ・10月25日 沖縄ナイトin香港 各会場での試飲提供及びプレゼンブース設置予定
4	国のイベント等を活用した情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	3月14日 クールジャパン官民連携プラットフォーム総会(交流会※)において、琉球泡盛の魅力をPRした(「泡盛の女王」によるうんちく話の披露及びカクテル等の提供)。 ※外国人のクールジャパンアンバサダー等、約200名が参加	「クールジャパン官民連携プラットフォーム」等のイベントの機会をとらえて琉球泡盛のPRを推進。その際には、琉球泡盛に関するうんちく話の披露やカクテルの提供等について検討。
5	インフルエンサー等による情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	3月29日「第一回 島酒フェスタ」の開催について、多言語パンフレット等を活用し、クールジャパンアンバサダー(総員44名)へ情報発信したほか、知財事務局のクールジャパン関連のFacebookでも情報をシェアし、開催をアピールした。	「泡盛の日(11月1日)」にあわせて琉球泡盛の魅力を外国人に訴求するストーリーやコンテキスト(地域文化、歴史上の背景など)とともに発信。同時に知財事務局のFacebookでも情報をシェア。

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
6	インフルエンサー等による情報発信 【沖縄国税事務所】	・4月5日、歴代「泡盛の女王」に平成30年度 AWAMORIクイーンズサポーターを委嘱。 ・「沖縄酒蔵マップ」を島酒フェスタ等で配布し、国税庁HPに掲載。	・AWAMORIクイーンズサポーターの本年秋の泡盛鑑評会及び表彰式へ参加、情報発信を実施。 ・AWAMORIクイーンズサポーターによる情報発信について県外の沖縄物産展等の機会活用を検討
7	海外メディア等を通じた泡盛情報の海外発信 【独立行政法人日本貿易振興機構】	・4月26日 香港にて総領事館、SAKE CENTRAL、沖縄県、ジェトロの共催事業として泡盛プロモーションイベントを実施。ジェトロが派遣した泡盛マイスター協会のバーテンダーもカクテルを作り、香港のメディアやインフルエンサー、飲食業界関係者等に泡盛情報を発信。 ・5月2日 ジェトロのウェブサイト(日本産食材ピックアップコーナー)に「琉球泡盛」の英文紹介ページ作成(日本語も) https://www.jetro.go.jp/en/trends/foods/ingredients/awamori.html ・5月29日 ジェトロ海外赴任者研修の一環として、日本酒造組合中央会と連携した國酒研修を実施。初めて琉球泡盛も取り上げ、海外赴任予定者約50名が学習。 ・5月30日 タイ・バンコクにて開催した「琉球泡盛のタベ(Awamori Night)」において、宮腰総理補佐官ご出席のもとタイ及び周辺国のメディアやインフルエンサー、バイヤー等約60名に琉球泡盛及び泡盛カクテルをPR https://www.jetro.go.jp/jetro/topics/2018/1805/topics5.html ・7月11日 大手酒類輸出商社がアジア7カ国・地域から招へいた海外バイヤー8社13名に対し、泡盛マイスターによる泡盛セミナーを東京にて開催。	・第3～4四半期 在京メディアの泡盛取材アレンジ(予定)

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
8	琉球泡盛海外輸出 プロジェクト・ポータルサイトの構築 【プロジェクト事務局】	内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトプロジェクト 関連情報を掲載、随時更新 http://www.ogb.go.jp/soumu/017012 ・7月 制作事業者と契約（泡盛百科のリニューアル）	・8月中 コンテンツの作成 ・8月以降、順次、支援情報のページを開設、 掲載
(2)効果的な販路拡大・市場拡大			
9	海外へアプローチするためのペル ソナ調査分析 【沖縄県酒造組合】	4月 受託者決定 現在調査事業のアンケート内容及び実施場所対 象者などの選定を精査中	・8月20日 インバウンド消費者向け定量調査 ・9月15日 在沖外国人向け定量調査 ・10月15日 販売店及び事業者向けのグループ インタビュー（定性調査） ・11月15日 在沖外国人向けのグループ インタビュー（定性調査） ・2月頃 他業界の専門講師を招いて、インバウ ンド向けプロモーション事例などの紹介 を兼ねた基調講演及び事業報告会
10	国内の大型酒類展示見本市への 出展 【沖縄県酒造組合】	酒造所とその地域の親和性を意識した「酒蔵 ツーリズム」の企画案を検討中。 7月11日 委託事業者選定・事業開始	①9月20日～23日 ツーリズムEXPOジャパン 2018（東京）において、酒蔵ツーリズムに特化し たブースの設置や旅行会社と企画会社との事業 マッチングを行う予定 ②11月29日、30日 沖縄大交易会への出展を検 討
11	沖縄国際物流ハブ活用推進事業 【沖縄県産業振興公社・沖縄県】	・4月2日 以下の項目に係る補助金の申請及び 相談受付を開始。随時、補助金申請、相談受付 を実施。 ①見本市・物産展等への渡航費用 ②海外バイヤー等の招聘費用 ③現地での販売促進活動費用 ④商品改良に関する費用など ・4月12日 上記内容の説明のため説明会の実 施	

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
12	沖縄大交易会 【沖縄県産業振興公社・沖縄県】	・4月23日～7月20日 サプライヤー募集 ・6月6日 県内サプライヤー向け参加者募集説明会の開催 ・7月31日 「食品流通業界の最新トレンドとこだわり商品の県外販路開拓セミナー」を実施	・8月上旬 参加サプライヤー確定 ・10月末にかけて、県内サプライヤー及び海外展開志向事業者向け、各種セミナーを関係団体と共に実施(8/17:アジア・欧州・オセアニアへの農林水産物・食品市場の開拓に向けて、9/20基礎から分かる貿易実務・海外での知的財産の保護方法、9/27海外でも売れる商品パッケージの作り方、10/18商談の進め方) 【参考】 大交易会開催 開催日時:平成30年11月29日～30日 開催場所:沖縄コンベンションセンター ※詳細、申し込みは沖縄大交易会ウェブサイト(http://gotf.jp/)
13	クルーズ船での泡盛の活用促進 【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】	①沖縄へ寄港する際に設置される船内観光案内所において酒造所等の紹介を検討 ②船社側へ、船内レストラン、バーでの活用について提案	
14	リゾートウェディングでの泡盛の活用促進 【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】	海外におけるウェディングフェアでの紹介等	10月27日～28日「沖縄リゾートウェディングフェアIN台湾(仮称)」にて、泡盛関連コンテンツを発信予定
15	米国での販売促進 【(株)沖縄県物産公社】	・米国での泡盛販路開拓に向けた現地取扱業者と県内メーカーとの調整(輸出手配、販促企画立案等) ・4月16日週 泡盛メーカーとの企画会議開催	サンプルボトル、販促品を輸出(7月)し、現地到着後、現地取扱業者による小売店舗への販路拡大及びレストラン、バー、クラブ等へ営業活動を強化する(新規販路開拓を含む)。
16	台湾での販売促進 【(株)沖縄県物産公社】	台湾での泡盛販路開拓に向けた現地取扱業者と県内メーカーとの調整(輸出手配、販促企画立案等)	・得意先の商品カタログへ泡盛商品の掲載及び10月実施予定試飲販売に向けた商談。 ・8月に台湾新光三越(3店舗)で泡盛の試飲販売を実施。

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
17	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度等) 【沖縄振興開発金融公庫】	29年度の泡盛製造業者に対する貸付実績: 6社、550百万円	公庫調査レポート「泡盛メーカーの現状と課題」 (30年6月)を踏まえて、引き続き資金面での支 援を行うとともに、財務診断による経営アドバイ スや経営改善計画の策定支援など、各事業者 の経営課題の解決に向け、積極的に取り組む
18	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】	29年度の泡盛古酒製成事業に対する貸付実績: 1社、30百万円	・17に同じ
19	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	29年度の泡盛在庫担保制度での貸付実績: なし	17に同じ
20	沖縄の酒類製造業自立経営促進 事業 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事 務局・沖縄県】	・5月8日 受託者選定(2件) ・5月17日 契約・受託者において、①中国本土 市場及び中国からの訪日外国人、②「ハードリ カー」としての北米・欧州市場、を対象とした泡盛 の販路拡大に向け、モデル事業を実施 ・8月2日 沖縄県泡盛振興協議会のWT(海外販 路開拓)で報告	11月29日～30日開催予定の「泡盛海外展開事 業展～いいね！AWAMORI～」(沖縄大交易会併 催事業)において、事業紹介予定。
21	空手とのコラボによる市場拡大 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事 務局・沖縄県酒造組合】	・3月以降 沖縄県内空手関係者(県、団体、有 識者)との意見交換 ・6月 PR方法等の検討・関係者調整 ・7月 PR動画、フライヤー、泡盛ミニボトル制作 ・8月1日～7日 「第1回沖縄空手国際大会」(那 覇)において海外空手家に対するPR等の実施 ※PR動画サイト「沖縄伝統空手チャンネル」 https://www.youtube.com/channel/UCmaikW-gShg2BfV-1xPWAyA	8月以降 作成したPR動画、フライヤーを活用し、 空手用品専門店でのPRなど、海外空手家等へ のPRを実施。
22	泡盛海外展開支援連絡会議 【内閣府沖縄総合事務局】	3月15日 平成29年度第3回連絡会議 ・アイスランドカクテルコンペ開催報告 ・次年度計画	・11月29日～30日 「泡盛海外展開事業展～いい ね！AWAMORI～」(沖縄大交易会併催事業)開 催予定 ・2月 アイスランド第2回カクテルコンペ開催予定
23	海外の大型酒類見本市への出展 支援 【国税庁】	7月2日、3日 ロンドンで開催された英国最大級 の酒類展示見本市「Imbibe Live」に日本産酒類 プロモーションブースを出展し、泡盛製造業者と 海外酒類関係者とのビジネスマッチングのサ ポートを行った。	今後開催される海外の大型見本市に泡盛関連 事業者が積極的に出展できるよう、沖縄県酒造 組合を通して情報提供を行う。

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
24	海外需要創出等支援対策事業 【農林水産省】	・4月4日 事業交付決定 ・JETROが行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供、アドバイス、商談会等への出展支援の取組を随時実施 ・4月26日 香港でJETROが泡盛マイスターを派遣し、総領事館等と共催で宮腰総理補佐官によるトップセールスを実施 ・5月30日 バンコクでJETROが宮腰総理補佐官によるトップセールスを実施 ・6月27～30日 台北で開催される総合食品見本市「FOOD TAIPEI2018」に、1社（沖縄県）が出品 ・6月27日 那覇市でJETROが「琉球泡盛輸出促進セミナー」開催し74名が参加。インバウンド対応と海外プロモーションに知見を有する講師が講演	・第3～4四半期 第2回琉球泡盛輸出促進セミナーの開催（予定）
25	泡盛特化型輸出支援パッケージ 【独立行政法人日本貿易振興機構】	・4月13～14日 「酒類商社と泡盛酒造所の輸出商談会」（那覇市）を開催（輸出商社3社と泡盛酒造所9社が参加）。商談継続中。※島酒フェスタとの連携イベント ＜様々な機会を通じた泡盛PR・商談支援＞ ・3月7日 アジア最大級の食品見本市FOODEX JAPAN（千葉県）にて、ジェトロが招聘した海外食品バイヤーと泡盛酒造所が商談。 ・3月13日 在インド日本大使館主催レセプションにて宮腰総理補佐官ご出席のもと泡盛PRを実施。 ・4月26日 香港にて総領事館、SAKE CENTRAL、沖縄県、ジェトロの共催事業として泡盛プロモーションイベントを実施。ジェトロが派遣した泡盛マイスター協会のバーテンダーもカクテルを作り、香港の飲食業界関係者等に泡盛を提案（前掲）	・11月5～10日 中国国際輸入博覧会（上海）に泡盛酒造所1社、泡盛輸出商社2社の出品を支援（予定） ・第3～4四半期 海外バイヤー招聘・商談会の開催（沖縄県内）（予定） ・第3～4四半期 第2回琉球泡盛輸出促進セミナーの開催（予定）

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
25	泡盛特化型輸出支援パッケージ 【独立行政法人日本貿易振興機構】	・5月12～13日 タイ・フェスティバル(東京)にて沖縄県酒造組合による泡盛ブース出展を支援。宮腰総理補佐官がタイ側VIP等(観光・スポーツ大臣、在京大使等)に泡盛をご紹介。2日間で外国人来訪者を含む約1,500人が泡盛を試飲。 ・5月30日 タイ・バンコクにて開催した「琉球泡盛のタベ(Awamori Night)」において、宮腰総理補佐官ご出席のもとタイ及び周辺国のメディアやインフルエンサー、バイヤー等約60名に琉球泡盛及び泡盛カクテルをPR(前掲) https://www.jetro.go.jp/jetro/topics/2018/1805_topics5.html ・6月27日 「琉球泡盛輸出促進セミナー」開催(那覇市)。インバウンド対応と海外プロモーションに知見を有する講師が講演。泡盛酒造所や関係機関等から74名参加。 ・6月27日～30日 総合食品見本市「FOOD TAIPEI」(台北)にて、泡盛酒造所の出展・商談を支援(泡盛酒造所1社が出品) ・7月2日～3日 英国ロンドンにおいて開催されるアルコール飲料業界向け展示会「Imbibe Live 2018」に出展する日本産酒類プロモーションブースにて、泡盛酒造所等の出展・商談を支援(泡盛酒造所1社、泡盛輸出商社1社が出品) ・7月11日 ジェトロ社内及び内閣府、農水省、国税庁の泡盛関係者計23名を対象に、泡盛マイスターによる泡盛勉強会をジェトロ本部にて開催。 ・7月11日 大手酒類輸出商社がアジア7カ国・地域から招へいた海外バイヤー8社13名に対し、泡盛マイスターによる泡盛セミナーを東京にて開催(前掲)	

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
26	横断的かつ俯瞰性を兼ねた中核人材育成 【沖縄県酒造組合】	・5月 「沖縄型産業中核人材育成事業」(内閣府)受託決定 ・官能開発による商品づくりと、市場動向や潜在的な消費者ニーズの把握などのマーケティング思考を踏まえた中核人材育成を行っていく。 今後の実行委員会にて、実践するカリキュラム内容を策定していく。	・8月～12月 官能とマーケティング講座実習 ・1月 招聘講演(①官能評価による商品開発、②ガストロノミーツーリズム) ・2月 県外実地研修(株明治、スーパーマーケットトレードショー出展)
27	酒類卸売業者の泡盛に関する知識の向上 【沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	5月 総会において、「酒類卸売業者の泡盛に関する知識向上講習会」を平成31年3月までに開催することを事業計画に盛り込んだ。	平成30年度の事業計画に基づき、講習会を実施予定(開催時期や具体的な内容は今後の役員会で検討)。
(3) 品質・技術の向上/人材育成			
28	訪日外国人に対する販売力強化 【沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	平成30年度事業計画において、販売管理者研修に合わせて「訪日外国人に対する販売力強化のための泡盛に関する研修会」を平成31年3月までに開催することを盛り込んだ。	平成30年度の事業計画に基づき、泡盛に関する研修会を実施予定(開催時期や具体的な内容は今後の役員会で検討)。
29	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(特産品振興貸付制度等) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
30	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
31	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
32	泡盛鑑評会における品質評価の実施及び結果公表 【沖縄国税事務所】	・10月上旬 鑑定官及び有識者等による泡盛鑑評会を実施予定。 ・11月1日 泡盛鑑評会表彰式を実施予定。	

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
(4)ブランド力の向上			
33	沖縄県産泡盛の地理的表示「琉球」の活用促進 【沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	・7月11日 委託事業者選定・事業開始	酒造組合のHP「泡盛百科」の改修と合わせて、地理的表示「GI琉球」の意義やマークの説明などの解説などを掲載
34	「古酒の郷」を古酒ブランド発信基地として活用 【沖縄県酒造組合】	・7月11日 委託事業者選定・事業開始	9月4日 古酒の日を周知しながら、県内で泡盛試飲販売即売会を開催。古酒ブランドの推進・アピールのため、新商品の発売を予定。
35	首里城による琉球泡盛の歴史的価値に伴うブランド訴求活用 【沖縄県酒造組合】	・7月11日 委託事業者選定・事業開始	10月27日～11月4日 首里城管理公園との共催事業として、首里城銭蔵と琉球泡盛の歴史文化を学ぶ機会の提供と試飲即売会を実施予定
36	米国での販売促進(再掲) 【(株)沖縄県物産公社】	(再掲のため、省略)	
37	台湾での販売促進(再掲) 【(株)沖縄県物産公社】	(再掲のため、省略)	
38	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(特産品振興貸付制度等) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
39	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
40	沖縄振興開発金融公庫貸付制度(泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
41	琉球泡盛のPR 【外務省】	・3月9日 全在外公館に対し、本プロジェクトの立ち上げについて情報共有するとともに、各館にて積極的に泡盛に特化したPR事業等を実施するよう指示。特に、泡盛の海外輸出先としてポテンシャルの高い地域(バンコク、上海、香港、サンフランシスコ、ホノルル、ロサンゼルス)については平成30年度内にイベントを開催すべく調整。 ・4月26日 香港の日本酒等アンテナショップにおいて、現地バイヤー、メディア等を対象とした泡盛PRイベントを実施。 ・5月24日 上海・総領事公邸において、現地バイヤー、メディア等を対象とした、泡盛及び沖縄の食文化・伝統芸能のPRイベントを実施。 ・5月30日 バンコクの総合食品見本市『Thaifex』において、泡盛PRイベントを実施(JETRO主催)。 ・6月27日 ホノルル総領事公邸において、ハワイ商工会議所幹部およびハワイ選出連邦下院議員補佐官等を招き、泡盛PRレセプションを実施。	

(5)輸出環境の整備

42	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度等) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
43	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	
44	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	(再掲のため、省略)	

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
45	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (海外展開貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】	29年度の泡盛製造業者の海外展開海外貸付制度での貸付実績:なし	・17に同じ
46	関税引き下げに向けた交渉 【外務省、国税庁】	(調整中)	
47	米国における蒸留酒の容器・容量 規制の緩和 【国税庁】	平成29年11月の日米首脳会談で、米側で規制改正を検討している旨確認済み。 また、米国財務省のホームページに、規制の改正を検討している旨公表されている。	緩和の実現に向けた協議を当局間で継続。

(6)インバウンドとの連携

48	クルーズ船内での包括的プロモーション 【沖縄県酒造組合】	9月14日～16日 香港クルーズの船内プロモーションにおける泡盛PRの実施に向け、調整中	船内容に泡盛を体験してもらうため、試飲会の開催を始め、レストラン職員への琉球泡盛セミナー(日本料理と泡盛のペアリング企画)などを開催し、販売促進につなげていく予定。 ■
49	地域性を兼ねた包括的酒蔵ツーリズムの展開 【沖縄県酒造組合】	①4月14日～15日 第1回島酒フェスタを開催(12,000名の集客、泡盛関連売上額約1,100万円の実績) ②酒造所とその地域の親和性を意識した「酒蔵ツーリズム」の企画案を検討。 7月11日 委託事業者選定・事業開始	①第2回島酒フェスタ(平成31年4月13～14日開催)に向けて、県内外観光客に対する酒造所のPRを実施予定。 ②9月20日～23日 ツーリズムEXPOジャパン2018(東京)において、酒蔵ツーリズムに特化したブースの設置や旅行会社と企画会社との事業マッチングを行う予定。
50	海外航空会社等への酒造所PR 【(一財)沖縄観光コンベンションビューロー】	フィルムやテレビ番組等で取り上げられるよう提案(History channel “Art island Okinawa内での泡盛メーカーインタビュー実績あり)	
51	泡盛振興推進部会 ・海外販路開拓WT 【沖縄県、沖縄県酒造組合】	・8月2日 ①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を行った。	沖縄県酒造組合が実施する取組について、関係機関の意見を反映させ、より効果的な取り組みになるよう繋げていく。

	支援メニュー【団体名】	現状及び取組状況	今後の取組方向
52	泡盛振興推進部会 ・クルーズ船関連WT 【沖縄県、沖縄県酒造組合】	・8月2日 ①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を行った。	沖縄県酒造組合が実施する取組について、関係機関の意見を反映させ、より効果的な取り組みになるよう繋げていく。
53	訪日外国人による酒蔵訪問の受入体制整備 【観光庁】	・3月23日 全国の國酒の酒蔵を対象に実施した「訪日外国人受入に関する酒蔵及び外国人への調査事業」の調査結果取りまとめ ・5月 上記「訪日外国人受入に関する酒蔵及び外国人への調査事業」結果から泡盛の酒蔵からの回答のみを抽出・分析	・6月～8月 関係機関と平成30年度事業内容について検討 ・夏以降 調査着手